

ID No.	3009
研究課題名	アレルギー反応を調節する樹状細胞サブセットの同定および機能解析
研究代表者	大森 深雪 （東京女子医科大学・助教）
研究組織 受入教員 研究分担者	渡会 浩志 （東京大学医科学研究所・特任准教授）
研究報告 アレルギー反応の特徴である Th2 サイトカインの産生亢進は、上皮由来サイトカインの高発現を発端として起こる。なかでも、サイトカイン Thymic stromal lymphopoietin (TSLP)は、アトピー性皮膚炎を含むアレルギー疾患の病変部の上皮（表皮）で高発現する。本研究では、表皮における TSLP の高発現に伴って所属リンパ節に集積する樹状細胞サブセットを複数同定した。純化した樹状細胞サブセットとヘルパーT (Th) 細胞を抗原存在下で共培養したところ、ひとつの樹状細胞サブセットは、Th2 サイトカインに加えてアレルギー症状を憎悪させるサイトカイン IL-9 の産生を Th 細胞で誘導した。一方、もうひとつの樹状細胞サブセットは、IFN-gamma および IL-17A の産生を Th 細胞で誘導した。次いで、樹状細胞と Th 細胞のクロストークに関わる既知の表面分子の発現を調べてみたところ、Th 細胞の活性化や分化に関わる複数の表面分子の発現態度が双方のサブセットで異なることが判明した。 今後は、本研究で同定した樹状細胞サブセットをその他の細胞と区別するための新規マーカーの探索、樹状細胞サブセットがリンパ節に集積する前のルーツ、Th 細胞の機能調節における役割について研究を展開したいと考えている。	